

# 出張講義

## 環境

日本とニュージーランドの環境政策の違いから  
SDGs目標12「つくる責任つかう責任」を学ぶ

担当教員:木村 昭興 教授

持続可能な社会を実現するために、国連でSDGs17の目標が掲げられました。SDGsの目標達成のために、私たちはどのようなことができるでしょうか。模擬授業では、SDGs17の目標の中から「つくる責任つかう責任」について考えます。

日本は、戦後から高度経済成長期にかけて人口が増加するとともに、一般家庭から排出されるごみの量も増加しました。日本は、ごみの総排出量を削減するため焼却処分に依存しており、優れた処理技術で環境を守っている現状があります。

他方、諸外国では、日本のような優れた焼却技術を有しておらず、ごみ排出量の増加が大きな社会問題になっています。ニュージーランドの環境政策を取り上げ、ごみを焼却処分するのではなく、ごみの排出量を抑制する施策を解説することで、私たちが「つくる責任つかう責任」を達成するために何ができるかを考えたいと思います。

- 受講人数の目安:5人から40人程度
- 所要時間の目安:45分程度(調整可)
- 高校でご準備いただきたいもの:プロジェクター、接続ケーブル、スクリーン、ワイヤレスマイク